

	学習のポイント	概要
生活における経済の計画	家計の構造や生活における経済と社会との関わり	可処分所得や非消費支出などの事例から、家計の構造を理解する。また、経済循環における家計の位置付けとその役割の重要性について学ぶ
	家計管理	収支バランスの重要性とともに、リスク管理も踏まえた家計管理の基本を学ぶ。生涯を見通した経済計画を立てるための知識として、資金の備え、リスク対応、預貯金や保険、基本的な金融商品の特徴、資産形成の視点にも触れる
	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性	高校卒業後のライフステージの特徴と課題、家族構成や収入・支出の変化、生涯の賃金や働き方、社会保障制度などに関連付けながら考える
消費行動と意思決定	消費者の権利と責任	消費者基本法などの概要や趣旨を学ぶとともに、消費者の権利の行使には責任の遂行が伴うことについて理解する
	消費生活の現状と課題	消費者問題発生の社会的背景について学ぶ。消費者被害の未然防止につながるよう、近年の被害状況にも触れる
	消費行動における意思決定	問題の自覚、情報収集、解決策の比較検討、決定、評価などを取り上げ、消費行動における意思決定の重要性について理解する
	契約の重要性	多様な契約内容があること、未成年と成年の法律上の責任の違い（未成年者取消権の有無）について学ぶ。また、消費者支援・消費者保護についても触れる
	消費者保護の仕組み	消費者被害の防止や救済について具体的に学ぶ。国民生活センターや各自治体における消費生活センターの役割や機能、消費者契約法など被害救済のための基本的な法規のほか、表示偽装や製品事故なども取り上げる
	生活情報の適切な収集・整理	行政の情報、企業広告、商品やサービスの表示、インターネット情報などから、財・サービスに関する正確な情報の収集・整理ができるようにする
	責任ある消費についての考察、工夫	消費生活が環境や社会に及ぼす影響について考え、環境や社会への影響を意識した責任ある消費について考察し、工夫できるようにする
持続可能なライフスタイルと環境	生活と環境との関わり	経済発展や便利で快適な生活を優先してきた結果、環境問題や資源・エネルギー問題が生じていることを理解する
	持続可能な消費	持続可能な開発目標（SDGs）などの国際的な取り組みについての重要性を学ぶ。また、国際標準化機構（ISO）による品質管理や環境管理などに関するマネジメントシステムについても触れる
	持続可能な社会へ参画することの意義	持続可能な社会の構築には一人一人の参画が必要であることを、企業やNPO法人（特定非営利活動法人）の取り組みなどの具体的事例を通して理解する
	安全で安心な生活と消費	持続可能な社会とはどのような社会であるか、また、安全で安心な生活と消費とはどのようなものであるか多面的・多角的に考察し、実践に結び付ける